

こんなことが
許されていいのが

ネコ30万匹が

一年間に

涙なくしては
読めない

虐殺されている

昨日まで可愛がっていたペットを急に「ボー」する飼い主が急増中。ためにイヌ・ネコ合せて年間七十万匹がガス室に消えていく。いずれも人間のご都合主義のなせるわざ。遺棄されたペットたちは一言いいたいに達しない。「人面獣心だなんて偉そうなこというな!」って。

でも、高くても血統がよくて顔がいい犬をほしがる傾向にあります。雑種では商売にならないんですよ」(青山ケンネルの小出真梨子店長)

飼いが始めがこうなら、埋葬も人間並み。ペットの慰霊施設として一昨年オープンした厚木動物メモリアルパークの安田稔館長は、

「昨年あたりから急に人気が出てきました。イヌ、ネコ、ウサギ、サル、小鳥と種類はさまざまですが、皆さん家族同様に可愛がっていらっしゃるんです。つい先日、成人した子供さんと見えた方が、『子供より可愛』とおっしゃっていました。中には、愛猫の遺骨を自分の墓に入れたい、と相談される方もいらっしやるほどです」

ト、いささかマニアックに走る例も流行中とみえる。イヌやネコにマニキュアするのは序の口。小型犬ともなると、首輪にダイヤモンドをちりばめて耳にはルビーのピアス、歯をわざわざ総金歯にして、虫歯にこれまたダイヤを詰めるという念の入れよう。飼い主の婦人とおそろいのミンクのコートでペアルック……。

東武動物公園のカバ園長こと西山登志雄園長にこんな相談をもちかけたご婦人もあった。「愛犬の目に、ダイヤを入れたって言うんだよね。誰にもマネのできない、世界で一匹だけのイヌにしたいからどうぞだ。」

「そんなことできるわけない」と言う。『動物だからできるでしょ』だって。『だったら、まずあなたが目にダイヤを入れてみたら』と、言っちゃったよ」(西山園長)